

仮訳（2020年12月15日）

環境省及び化学物質国際対応ネットワークは、利用者が本仮訳に掲載されている情報を用いて行う一切の行為について、何らの責任を負うものではありません。詳細については原典等で御確認ください。



欧州委員会

ブリュッセル、2020年10月14日
COM(2020) 667 最終版

添付資料

欧州委員会による
欧州議会、欧州評議会、欧州経済社会評議会、地域委員会に対する報告書

に対する

添付書類

有害物質のない環境に向けた
持続可能な化学物質戦略

{SWD(2020) 225 最終版} - {SWD(2020) 247最終版} - {SWD(2020) 248最終版} -
{SWD(2020) 249最終版} - {SWD(2020) 250最終版} - {SWD(2020) 251最終版}

行動計画

立法案やREACHの対象を絞った改正を含めたこの行動計画で提示された措置はすべて、より良い規制の原則に沿って実行され、必要に応じて評価および影響評価の対象となることが必要です。

欧州委員会がとるべき重要な行動	EU法	指示スケジュール
化学物質の法規制の効率性と有効性を促進し、革新的で安全かつ持続可能な化学物質の開発と取り込みを強化し、戦略の実施による影響をモニタリングすることを目的とした、ハイレベルの円卓会議の設定。		2021
安全で持続可能なEU化学物質のイノベーション		
EUの安全で計画的な持続可能性をもつ化学物質の基準の策定		2022
EU規模の安全で計画的な持続可能性をもつ化学物質のサポートネットワークの立ち上げ		2023
安全で計画的な持続可能性をもつ物質、材料、製品の開発、商品化、展開、受容への財政支援		2021現在
安全で計画的な持続可能性をもつ物質に対するスキルのばらつきや能力差の割り出し、および推奨事項の提言		2021
安全で持続可能な化学物質の生産に向けた業界の移行状況を評価するための、主要業績評価指標の確立		2021
持続可能な製品へのイニシアチブを通じて、製品に含まれるPFASなどの懸念物質に対処するための法的要件の導入	(策定予定) 持続可能な製品イニシアチブ	2021-2022
低炭素で環境負荷の少ない工業生産および化学物質を使用するためのグリーンでスマートな技術、先端材料、革新的なビジネスモデルの開発を促進するイニシアチブおよび資金援助		2021現在
特に中小企業や新興企業を対象にしたリスクファイナンス手段		2021現在
EU産業のより安全な化学物質の使用を促進するための、産業排出に関するEU法の改正	産業排出物に関する指令	2021 E
化学物質が重要な構成要素になっている主要なバリューチェーンとその従属者の特定、および化学物質に関するEUの戦略の先見性を高めるためのステークホルダーとの協力体制の構築		2021現在
共同投資プロジェクトの開発を加速させるためのスマート・スペシャリゼーションを通じ、持続可能な化学物質のバリューチェーンに沿った地域間協力の促進		2021現在

グリーン化およびデジタル化に向けた労働者の技能再教育および技能向上教育		2020現在
環境と健康への差し迫った懸念に対処するための、より強力なEUの法的枠組み		
REACHに基づいた、発がん性物質、変異原性および生殖毒性物質 (CMR)、内分泌かく乱物質、難分解性物質、生体蓄積性および毒性 (PBT、難分解性、生体蓄積性[vPvB]が非常に高い物質) のある物質、免疫毒性物質、神経毒性物質、特定の器官に毒性のある物質、呼吸器感作性物質を優先的に (グループとして) 規制するためのロードマップ	REACH (コミトロジー)	2021
がんや突然変異を引き起こす化学物質、生殖系や内分泌系に影響を及ぼす化学物質、難分解性、生体蓄積性、毒性のある化学物質が消費者製品に含まれないように、リスク管理への一般的なアプローチを拡張する提案。免疫系、神経系、呼吸器系に影響を与える化学物質や、特定の器官に毒性のある化学物質など、さらなる化学物質に同様のアプローチを拡張するための方法とタイミングの評価	REACH第68条 (2)	2022
	食品接触材料規則	2022
	化粧品規則	2022
	玩具安全指令	2022
	影響評価によって特定される他の消費者製品 (洗剤など) の法制度	
REACH第68条 (2) を改正して専門業者を含める提案	REACH	2022
保育用品とその他の子供向け製品 (玩具を除く) に含まれる有害化学物質から子供たちの安全を確保するための、一般製品安全指令で定められている法的要件およびREACH規制の導入	REACH (コミトロジー)	2022
	一般製品安全指令	2021
労働安全衛生のための今後の戦略的枠組みの過程で、欧州委員会が職場での労働安全衛生の分野で定められた協議プロセスに従って、労働制限を課す提案をするような最も有害な化学物質の特定を含め、労働者の有害物質へのばく露に対する優先的な対処の定義	労働安全衛生のための戦略的枠組み	2021
社会的パートナーとの協議の上で、特に鉛とアスベストの既存の職業ばく露限界値の引き下げ、およびジイソシアン酸の拘束力のあるばく露限界値の設定の提案による、労働者の保護の強化	化学物質指令、職場のアスベスト指令	2022
モントリオール議定書での定義を考慮に入れた、エッセンシャルユース基準の定義		2021-22
CLP規則を改正し、内分泌かく乱物質、PBT・vPvB、難分解性物質、可動性物質を対象に新しい有害性分類を導入し、それらをすべての法規制に適用する提案	CLP規則	2021

<p>特にREACH、および化粧品、食品接触材料、植物保護剤、殺生物製品に関する法規制の下で、内分泌かく乱物質を特定できるようにするための情報要件の更新</p>	<p>REACH (コミトロジー) 殺生物製品規則 (付属書) 植物保護剤規則 (欧州委員会報告書) 食品接触材料規則 化粧品規則</p>	<p>2022 2021 2021 2022 2022</p>
<p>REACHの付属書Iに混合物評価指標を盛り込む際の最善の導入方法の評価</p>	<p>REACH (コミトロジー)</p>	<p>2022</p>
<p>水中の化学物質、食品接触材料、食品添加物、玩具、洗剤、化粧品の複合効果を考慮に入れるための規定の導入または強化</p>	<p>環境品質基準指令・地下水指令 (付属書) 食品接触材料規則 食品添加物に関する委員会規則 (コミトロジー) 洗剤規則 玩具安全指令 化粧品規則</p>	<p>2022 2022 2022 2022 2022 2022</p>
<p>REACH第57条を改正し、内分泌かく乱物質、難分解性、可動性および毒性を持つ物質 (PMT)、非常に高い難分解性および可動性を持つ物質 (vPvM) を、高懸念物質リストに追加する提案</p>	<p>REACH</p>	<p>2022</p>
<p>消費者製品を含むすべての非エッセンシャルユースを対象に、REACHの下でPFASを制限する提案</p>	<p>REACH (コミトロジー)</p>	<p>2022-24</p>
<p>PFASを、可能な場合はグループとして、追加するための環境品質基準指令および地下水指令の付属書の見直し</p>	<p>環境品質基準指令・地下水指令 (付属書)</p>	<p>2022</p>
<p>食品汚染物質に関する法規制にPFASの上限を導入することによる、食品に含まれるPFASの対処</p>	<p>食品汚染物質に関する委員会規則 (コミトロジー)</p>	<p>2022</p>
<p>産業における工場からのPFASの排出と報告に対処するための、産業排出と欧州汚染物質排出登録および移動登録 (PRTR) に関する法規制の改正を提案</p>	<p>産業排出指令</p>	<p>2021</p>

下水汚泥に関する法規制の改正を含めた、廃棄物段階からのPFASの排出に対処するための提案	下水汚泥指令	2023
ストックホルム条約およびバーゼル条約に基づいた、世界規模でPFASの懸念に対処するための提案		2023-2024
PFASによる汚染を修復する革新的なソリューションへのEU全体でのアプローチと財政的支援		2020現在
法的枠組みの簡素化と統合		
単一の公的機関調整ツール、専門家グループ、欧州委員会の調整メカニズムを使用した、化学物質の有害性・リスク評価を調整するための「1つの物質、1つの評価」プロセスの確立		2021現在
化学物質に関するEUの技術的および科学研究をEU機関に再分配するための横方向の提案		2022
欧州化学物質庁(ECHA)の創設規則の提案		2023
欧州委員会に整合性のとれた分類を開始する権限を付与するための、CLP規則の改正の提案	CLP規則	2021
ナノマテリアルの定義の見直し		2021
REACHの認可プロセスおよび制限プロセスの改訂の提案	REACH	2022
ヒトと環境の健康に基づいた限界値に焦点を当てたEUデータベースの設立		2022
化学物質の安全性データ用のオープンプラットフォーム、および関連する学術データにアクセスするツールの開発		2023
データの再利用に関する法規制上の障害を取り除き、法規制全体のデータフローを合理化し、オープンデータと透明性の原則をEUの食品安全部門から他の化学物質に関する法規制に拡張する横方向の提案		2023
規制の枠組みの一環として、EUおよび国家当局が物質の試験やモニタリングを委託できるようにする提案		2023
化学物質の指標に関する枠組みの開発		2024
欧州監査資格を導入するための、REACHの	REACH	2022

改正の提案		
REACHの登録対象である物資のすべての登録に対して確実にコンプライアンスチェックを行い、登録番号の取り消しができるようにするための、REACHの改正	REACH	2022
OLAFの活動範囲を、EUに流通する違法な化学薬品の調査に拡大する提案		2022
特定の製品の確認に対して一定の条件および頻度を設定するための、市場監視規則に基づく実施法令の提案	市場監視規則	2022-23
化学物質に関する包括的で透明性のある知識基盤の提供		
神経系および免疫系への影響を含む重大な有害性を持つ物質の特定、グループ化アプローチへの移行、ポリマーのサブセットの登録、化学物質による環境全般への負荷に関わる情報、1～10トン数帯の化学物質の安全性に関する報告義務を確実にするための、REACHへの登録要件を改訂する提案	REACH	2022
化学物質の研究およびイノベーションにおける戦略的アジェンダの開発		2022
EU規模でのヒトおよび環境の(バイオ)モニタリングに対する投資		2020現在
EUの化学物質に対する早期警告および早期行動システムの構築		2023
化学物資の管理を世界的に刺激するモデルの提供		
国連GHSの使用を国際的に推進するための国際機関および業界とのイニシアチブ		2020現在
CLP規則に沿った基準・有害性分類を導入、適応、または明確化するための国連GHSレベルでの提案		2022-24
特に資金提供を通じて、第三国に化学物質を評価および管理する能力を構築する支援		2020-2022
欧州連合で禁止されている有害性のある化学物質が輸出用に生産されることを防ぐための、関連する法規制の必要に応じた改正		2023
将来の持続可能なコーポレートガバナンスの取り組みに向けた、化学物質の持続可能な生産と使用におけるデューデリジェンスの促進		2020-2024